

【第10問】

甲及び乙は、Aが一人暮らしをしている自宅に侵入して、A宅内にある宝石を盗み出すことを計画した。その際、甲は乙に対して、「Aが寝たすきに気づかれないように、宝石を盗め。気づかれたら危害を加えずにすぐに逃走しろ。」と注意をしていた。

犯行当日、甲は乙を車で現場まで送り届け、外の見張りについた。A宅に侵入した乙は、Aが布団で寝ているのを目視した。日ごろからAに恨みを持っていた乙は、Aの顔を見ているうちに憤怒しAを殺そうと考え、甲からの注意を無視し、護身用ナイフでAを突き刺した。しかし、Aは乙の侵入の1時間前に、心臓発作により亡くなっていた。

その後、乙は計画通り宝石を盗み出し、甲と合流して甲の運転する車で逃走した。その際、乙は甲に対して、刺突行為の事実を告げなかった。

甲と乙の罪責を検討せよ。